

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	35	1	事務事業名	十四山総合福祉センター管理運営事業		細事務事業名	十四山総合福祉センター管理運営事業		公的関与	2	シート作成日	平成31年6月28日		
	課名	十四山総合福祉センター			グループ	十四山総合福祉センター		担当課長名	藤井清和		シート作成者名	藤井清和			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input checked="" type="radio"/> 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業						<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ				実施計画		事業の開始・終了						
		施策項目	高齢者支援の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成	9	年度	～	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	高齢者福祉サービス等の提供				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		老人福祉法・弥富市十四山総合福祉センター条例				
	個別計画														
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)									
		市内に居住する60歳以上の人				高齢者が生涯、健康で生きがいのある暮らしを営めるための豊かな人間関係と地域社会を形成します。									
事業の内容	事業の主目的でもある老人福祉センターとしてのサービスを行います。施設の管理を行います。当施設では、介護事業、障がい者支援及びシルバー人材センターの各事務所の場所を提供しています。														
成果指標	①	指標名	福祉センター延べ利用者数												
		指標設定の考え方	利用する高齢者に生きがいのある豊かな人間関係と地域社会を形成しています。(実績数値は施設全体とした。)								単位	人			
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度					
	実績	45,731	実績 43,329	目標 ※	目標 46,000	実績		実績 ※	目標 ※	目標					
	目標	45,000	目標 ※			目標 ※		目標 ※		目標					
	②	指標名													
	指標設定の考え方									単位					
DO	予算費目	会計	一般会計				款	3	民生費	項	3	老人福祉費	目	5	十四山福祉センター費
	直接事業費			平成 29 年度決算額				平成 30 年度決算額				平成 ※ 年度予算額			
		国・県支出金		千円				千円				千円			
		地方債		千円				千円				千円			
		その他特定財源		2,003 千円		千円		1,676 千円		千円		千円			
		一般財源		22,830 千円		千円		24,417 千円		千円		千円			
	計(A)		24,833 千円		千円		26,093 千円		千円		0 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費		2,146 人		千円		2,146 人		千円		人			
				14,807 千円		千円		14,807 千円		千円		0 千円			
		臨時職員工数・経費		1,042 人		1,667 千円		1,493 人		2,389 千円		人		0 千円	
全体事業費(A+B)		41,308 千円		千円		43,289 千円		千円		0 千円					

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	高齢者や身体障がい者のふれあいの場所として利用度も高く必要不可欠な施設です。運営等の改善は随時実施していくことにより住民のニーズを掘り起こします。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>
2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>	はい		<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>	はい		<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>	はい		<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	高齢者や身体障がい者のふれあいの場所として有効な施設です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	利用者の不満もほとんどなく、活用されています。		<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない			<input type="radio"/>	あまり上がっていない			
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している			<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している			
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	十分達成している			<input type="radio"/>	十分達成している			
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	コストについては、極力抑える努力はしているが、高齢者や身体障がい者のふれあいの場所として提供する目的であるので、利用者の不便にならないように効率的な施設維持管理・運営を行っています。	<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 1	総合評価 B			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 4 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等					
	当面の課題	お風呂の老朽化が顕著に表れてきており、修繕管理に追われている。利用者に不便にならないよう維持管理する必要があります。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)							
	課題解決のための改善計画	費用面、センター運営面において最小限の影響にとどめるよう、保守点検結果及び日常点検において優先順位を考えて修繕で対応していく一方、金額の大きいものについては、修繕工事において対応していく。					老朽化により修繕の必要が増加している。現在、管理運営は市の直営で行っているが、第三者等の運営も考慮して維持管理費の節約に努めなければならない。							
備考														